

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ新子安保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：森 さゆり	定員（利用人数）： 定員：60名（利用者：60名）
所在地：〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1-18-1 ザ・パークハウス横浜新子安ガーデン	
TEL： 045-433-0500	ホームページ： <a href="https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_065.html">https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_065.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成27年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員：3名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長：1名 栄養士：2名
	保育士：13名 調理師：2名
施設・設備の概要	（居室数） 保育室：6室 園庭：あり
	（設備等）
	トイレ：5ヶ所
	調理室：1ヶ所
	事務室：1ヶ所
	相談室・医務室：1室 更衣室：1室

③ 理念・基本方針

<企業理念> 子ども達の未来のために

<保育理念> 豊かに「生きる力」を育てる

一人ひとりの子どもが、かけがえのない人生を豊かに歩いていくために、その人生のスタートである乳幼児期を『愛おしい存在』として認められ、その『命』を守られ、『心地よくいきいきと生きる』こと。

グローバルキッズはこれが最も重要であると考えています。

子どもの気持ちを尊重し、受け止め、認めることで、子どもは『自己』を十分に発揮します。

そして周りの人への信頼感が育ち、『自分は大切な存在』であることを感じ取っていきます。

子どもたちが日々の生活をとおして、『自分を大切に』『人を大切にする』という人として大切な力が育っていくよう、丁寧に、広い視野と客観性を持って保育を行います。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

##### <保育目標>

- 1 やりたいことを、思いきりできる
- 2 人の気持ちを想像し、受け止めたり考えようとする

##### <保育方針>

- 1 子どもの考えを主体とし、やりたい気持ちを大切に一緒に取り組む
- 2 子どもと一緒に考え、子どもの意見を尊重し楽しく面白い保育
- 3 家庭との連携をしっかりと取り、子ども一人ひとりが安心感を感じる保育

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月9日（契約日） ～ 令和5年11月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（ 2020年度）

#### ⑥総評

##### ◇特長や今後期待される点

##### 1) 子どもが過ごしやすい保育環境の工夫がなされています

各保育室はおもちゃや絵本が自分で自由に取り出せる環境になっています。制作途中のブロックなど子どもの作品を置いておけるスペースを確保し、次の自由時間に遊びを続けられるような配慮がされています。職員はそのクラス独自でやりたいこと、自分でやってみたくなる働きかけ、子どもの様子から引き続き行うことも取り入れ、環境設定や方法も考え実践しています。また、子どもが家庭のようにゆったりと過ごすことができる環境や生活リズムに合うよう園での過ごし方にも配慮しています。1階ホールは家庭のリビングルームのようにソファ、ローテーブル、敷物、観葉植物を置いた一角があり、子どもたちのお気に入りの場所になっています。

##### 2) 異年齢を随所に取り入れながら保育が展開されています

5歳児クラスが1歳児クラスのお手伝いをする、行事の練習を合同で行うなど異年齢での関わりを意識しています。運動会の練習を、園舎近くにある新子安地域交流室で幼児クラス合同で行いました。3歳児はボンボン、4歳児はフラッグ、5歳児は鳴子を使ったダンスをそれぞれ披露しています。「かっこよかった」「よかった」など他クラスの子どもたちから感想が出ています。異年齢での活動を随所に取り入れることで、友だちとの関わりが深まる様子が見られます。クラスの友だち同士の遊びの中からもたくさんのお話を学んでいます。配慮が必要な子どもは、年齢を限定せず、他クラスで活動をすることもしています。

##### 3) 働きやすい環境づくりへの取組が進められています

園長は、子ども主体の考えを尊重し丁寧な保育を目指していくうえで、職員が明るく生き生きとして子どもに関わっていくことが大切との考えで園の運営に取り組んでいます。働きやすい環境づくりの一環として、残業が生じないように配慮したり、有給休暇取得も推進し、オンオフの切り替えによって職員の生活が充実したものとなるよう努めています。職員からの保育の現場での悩みや相談には、園長として積極的に対応し支援しています。職員の提案にも迅速に対応し職員のやる気を大切にしています。ベテラン職員をはじめ職員のチームワークも良く、昨年度の常勤の離職者はゼロとなっています。

##### 4) BCP（事業継続計画）の周知が期待されます

災害に備え、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などの計画であるBCP（事業継続計画）は今年度園長が作成しています。今後職員間で共有していく予定です。計画を共有し、災害に備えていくことが期待されます。

5)必要な人員体制の速やかな確保が望めます

現在求人面では職員不足の状況が続いており、必要な人員の確保をタイムリーに進めていくことが難しい状況にあります。現状の保育の質をさらに向上させて行くため、法人の採用部門と連携し、速やかに必要な人員体制を確保することが望めます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園9年目を迎え、来年は大きな節目でもある10年目を迎えます。

第三者評価も3回目の受審となり、改めて園の課題に対し職員一丸となり取り組んでいこうと思います。

保護者の皆様からのあたたかいお言葉、ご意見を真摯に受け止め、これからも子どもたちの健やかな育ちを共に見守っていきたいです。

今回の評価をしっかりと受け止め、今後も子ども中心、主体とした保育を実践しチーム保育の充実を図りたいです。

また、保育者の専門性の向上、人材育成にも力を入れ子どもたちの未来のためにより良い保育園運営に努めていきたいと思っています。

この度はありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり